

令和8年度 金沢市立森山町小学校経営計画

(1) 教育目標 「創造性を育む」

明治13年の開校以来歴史のある本校では、先達の叡智と校区の伝統を大切にし、継承し続けている。そして、時代とともに変わっていく様々な新しい教育的に価値あるものを取り入れ、よりよいものを創造していくことが大切であると考えます。

(2) 教育方針

一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることのできる資質・能力を育成することが学校教育には求められている。

令和7年度より「新金沢型学校教育モデル」を実践し、新しい時代が求める自学・共創の学びを通して、「自分」と「みんな」で新しい価値や最適解を見出す「創造力」を育てている。

本校では、「創造性を育む」ことを目指し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成や地域への愛着と誇りが持てる教育を推進する。そのために、自分で考えかかわり合いを通して「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図る。

(3) 目指す児童像・学校像・教師像

① 目指す児童像

考える子（知） やさしい子（徳） たくましい子（体）

② 目指す学校像

児童が主体的に活動し、明るく活気に満ちた創造力のある学校
やさしく思いやりの心が満ちあふれた学校
環境が整備され、安全で安心な学校
地域に根ざし、地域に開かれた学校

③ 目指す教師像

教育の充実を目指し、創造的なアイデアを生み出す教師
子供の視点に立ち、子どものよさや個性を引き出す教師
子ども・保護者・地域の期待に応え、信頼される教師